

★巻頭エッセイ

今回の巻頭エッセイは、平成27年度に専修大学図書館で購入した貴重書、ユークリッド／パチョーリ註釈「原論」(*Euclidis megarensis philosophi acutissimi mathematicorumque...*)初版1509年刊について購入推薦者の佐々木重人専修大学長・商学部教授に寄稿していただきました。

ユークリッド／パチョーリ註釈「原論」初版1509年 ヴェネチア刊について

専修大学長・商学部教授 佐々木 重人

イタリア南部ナポリにある国立カポディモンテ美術館に、「ルカ・パチョーリ修道士と青年の肖像」(1495年)と題された肖像画(写真1)が展示されている。



写真1 「ルカ・パチョーリ修道士と青年の肖像」

この絵画に描かれた二人の人物のうち、むかって左側がルカ・パチョーリ(1445～1517年)である。彼は、企業の経済的活動を帳簿に記録する手段として、現代企業も使用している複式簿記を中世ヴェネチア商人が用いていた記帳技術(ヴェネチア式簿記)として、自ら著した実用算術書『算術、幾何、比及び比例総覧(略称:スμμα)』1494年 ヴェネチア刊-専修大学図書館所蔵)の中で紹介した。このことにより、同書は、活版印刷書として複式簿記を初めて紹介した文献として知られている。

そしてもう一人、パチョーリの右側に立つ男性は、ルカ・パチョーリの生まれ故郷ボルゴ・サンセポルクロ周辺を治めていた地元の領主ウルビーノ公グイドバルド・ダ・モンテフェルトロ(治世1482～1508年)とされ、「スμμα」には、グイドバルドに宛てた献辞が呈されている。彼の父は、ルネサンス期の芸術庇護者としても有名なウルビーノ公フェデリコ・ダ・モンテフェルトロ(治世1444～1482年)で、ルカ・パチョーリは、青年期に同郷の数学者であり画家でもあった、ピエロ・デッラ・フランチェスカの紹介がきっかけで、フェデリコが所有した図書館を利用しながら数学者としての道を歩んだ。「スμμα」出版時には、息子のグイドバルドの治世となっており、おそらく幼少期のグイドバルドに数学の手ほどきをした経験もあったかもしれない。それを彷彿とさせるように、「スμμα」

出版の翌年に描かれたこの絵には、ルカ・パチョーリが、開かれた本を指さしながら、細長いニードル状の棒で、タブレットに手書きの図形を描き、ユークリッド幾何学¹について講じている様子が描かれている。

この絵画の右下に描かれている文献は、「スμμα」とほぼ同形状(厚さ5センチ程)のものである。もう一冊(中央下)は、「ユークリッド」と書かれたタブレットに描かれている図形と同様のものが記載されている点から、1482年にラテン語訳としてヴェニスで刊行された最初のユークリッド「原論」の活字印刷本(カンパヌス註釈版)である可能性が高い。今回、専修大学図書館が購入したユークリッド／パチョーリ註釈「原論」初版1509年刊(写真2)は、この文献にルカ・パチョーリが註釈²を付して刊行したものである。



写真2 ユークリッド／パチョーリ註釈「原論」初版1509年刊

¹ ユークリッドは、紀元前3世紀頃に活躍した古代ギリシャ時代の数学者で、『幾何学原論』は、ピタゴラス以来のあらゆる初期ギリシャの数学的知識を体系的に編集したものである。この書物は、中世、近世を通じて幾何学の教科書として用いられ、現在もお中や高校で教えられる図形問題はユークリッド幾何学である。広島経済大学図書館HP「自然科学書の印刷」参照。

² 本文にはカンパヌス版のテキストの後131箇所に「訂正者」castigatorとして、註が加えられている。1-2行の短いものから、1フオリオを優に超える長いものまで様々である。この版はたいそう稀覯本であり、ギリシア数学史の大家ヒースでさえも現物を見ることができなかつたといわれている。三浦伸夫[1999] *Accounting, Arithmetic & Art Journal* No.14 日本パチョーリ協会 6～7頁。

★図書館特別展報告

フランス革命を知ろう！2016

— 地方の革命、社会権の生成、国民経済の確立、憲法とナポレオンに注目して —

平成28年10月21日(金)から11月6日(日)まで図書館本館研修室(生田校舎9号館3階)で開催されました。本学が所蔵するフランス革命史料「ミシェル・ベルンシュタイン文庫」やナポレオン関係コレクションなどから史料約30点と、革命期の主要な事件や革命家たちの肖像を描いた銅版画(複製)などを展示しました。期間中は、銅版画の頒布も行われ、合計732名の入場者がありました。



★図書館ボランティア活動紹介



平成27年度から試験的に開始した図書館ボランティア活動。今年度は本格的に募集を開始し、総勢32名の学生が図書館内のボランティア活動をおこなっています。今年度は8月9日(火)に三省堂書店神保町本店へ行き選書ツアーを実施。後日同書店より講師を迎え、POP作成講習会を開催し、POPの作成、展示を学生主導で行いました。ボランティアの学生が選んだ本は、図書館本館、神田分館にて10月3日(月)から12月21日(水)まで展示しています。今回は学生から寄稿してもらいました。

学生による選書ツアー、そしてそこからの展示企画は今年で2回目になります。昨年度はライブラリークラブ愛好会から参加しましたが、今年は図書館ボランティアという大きな枠組みができ、より規模の大きいものになりました。どうすればより良い展示になるか、その試行錯誤を繰り返すことで図書館のことをより深く考えるきっかけになりました。また、企画やPOP作成をこなしていくことで、今後役立つスキルも多く身につけることができました。何よりもこの企画は「自分が選んだ本が図書館に入る」という滅多にない経験をする事ができ、とても良い学生時代の思い出を作ることができたと思います。このような機会を作ってくださった図書館スタッフの方々はこの場を借りてお礼申し上げます。最後に、今後も専修大学図書館が発展し続けられることを願います。

文学部日本文学文化学科4年 堺 菜摘・森本 未祐

★インフォメーション

○特別貸出の実施について

	冬 期	春 期
取 扱 期 間	平成28年12月12日(月)～12月23日(金)	平成29年1月17日(火)～3月21日(火)
返 却 期 限 日	平成29年1月12日(木)	平成29年4月14日(金)
貸 出 対 象 者	学部学生(聴講生、科目等履修生を含む)	学部学生(聴講生、科目等履修生を除く)
冊 数	10冊まで(通常の貸出冊数と同じ)	

○卒業生・大学院修了年次生の皆さんへ

*返却期限日は平成29年3月2日(木)です。

返却を忘れていませんか? 図書資料を借りたまま卒業すると在校生が大変困ってしまいます。返却は郵送でも受付します。紛失、問合せ等は図書館カウンターにご確認ください。

*卒業後も図書館を利用できます!

卒業後も年間利用を希望する場合は、校友として図書館利用カードを発行します。卒業後、図書館カウンターにお申し込みください。館外貸出は5冊、20日間までです。

○休日開館について

実 施 館: 本館(アクティブラーニング・プラザ除く)
神田分館

開 館 日: 平成28年12月4日(日)、11日(日)、18日(日)、23日(金)、24日(土)、25日(日)
平成29年1月5日(木)、6日(金)、7日(土)、8日(日)、9日(月)

開館時間: 10:00～17:00

○専修大学図書館スマートフォン版 OPAC

スマートフォンでの検索に最適化された画面で、蔵書検索・予約申込(貸出中資料の予約、他館からの取寄せ)の利用ができます。

ご自分のスマホからお気軽にご利用ください。



専修大学図書館だより 第89号

発行日: 2016年12月1日

編集・発行: 専修大学図書館(館長 坂野 明子)

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1 Tel.044-911-1274

URL: <http://www.senshu-u.ac.jp/libif/lib.html>

